



発達段階からみた

小児看護過程+病態関連図 第2版

編：石黒彩子・浅野みどり／医学書院

定価：3,990 円(本体 3,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■小児医療を代表する実践者たちと、小児看護の第一線の研究者の英知を結集、小児看護のナビゲーターとして好評を博する本書が、待望の改訂を遂げた。第1編で発達時期に特徴的な疾患について、患児の発達過程を視野に入れた看護過程がフローチャートで示され、全体像の把握、看護問題の整理を助ける。第2編では症状別のアプローチが、第3編では特殊治療が解説され、小児看護のすべてを網羅。

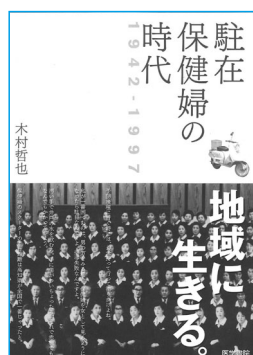
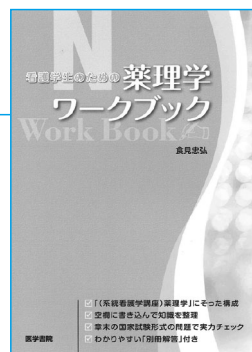
看護学生のための

薬理学ワークブック

著：食見忠弘／医学書院

定価：1,680 円(本体 1,600 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「(系統看護学講座)薬理学」に沿った目次配置で、各章に「穴埋め形式の参考書部分」と「演習問題」が設定されており、授業の復習、知識の整理・定着に最適の構成。各章末の国家試験形式の演習問題で、実力の自己チェックと国試対策が可能。演習問題の別冊解答には丁寧な解説が付され、理解を助ける。1つひとつの知識を確実なものにすることで、薬理学が楽しく学べる！



駐在保健婦の時代 1942-1997

著：木村哲也／医学書院

定価：2,940 円(本体 2,800 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■著者の祖母が駐在保健婦として活動した高知県を中心に、保健婦たちの「聞き書き」を核にまとめられた私たちの国の歴史。日本に広く「健康」や「衛生」の概念がなかった時代、結核、母子衛生、性病、伝染病、ハンセン病、精神衛生、成人病等々を直接支えた存在。その生の声。「…訪問するけん、プライマリ・ヘルス・ケア。ケアいうたら働きかけじゃいか」(本文より)は圧巻。

弱いロボット

著：岡田美智男／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■情報・知能工学の研究者が、ユニークな「弱いロボット」を開発！子どもたちや障害をもった人、高齢者たちの「ゆっくり」に付き合う弱いロボット「む〜」は、人の心を受け止める「グラウンディング」の役目を果たし、おしゃべりの糸口をつくってゆく。その「並ぶ関係」に、「他者を支えつつ、同時に支えられる関係のままでいいんじゃない？」(本文より)とする、ケアの新しいあり方が覗く。



ナースのためのマナー&接遇術

看護のこころとセンスを磨く

著：関根健夫・杉山真知子／中央法規

定価：2,310 円(本体 2,200 円＋税)／TEL：03-3379-3861

■時間に追われ、緊迫した場面も少なくない医療現場で、同僚や多職種との無駄のない情報伝達と感じのよい応対、来訪者・患者に安心感を与える話し方、接遇を、具体的な場面をさまざまに設定して解説する。部外者だからこそ気づく、ちょっとした改善点を通して、「惻隠(そくいん)の情」「まえがき」をもったプロであってほしいと、エールを送る。「エクセレントマナーの決定版」!



アタッチメントの実践と応用

医療・福祉・教育・司法現場からの報告

編著：数井みゆき／誠信書房

定価：3,675 円(本体 3,500 円＋税)／TEL：03-3946-5666

■アタッチメント(=愛着)を切り口に、家庭、周産期・小児・精神の医療現場、学校内相談室、元受刑者の社会復帰支援団体など、さまざまな現場からの問題解決の報告を解析。「アタッチメントが目指すところは、安心したいという欲求」(本文より)を満たすこととしたうえで、価値観が多様化し複雑さを増す社会における、アタッチメント理論の応用の可能性を見せつつ、その困難さをも報告する。



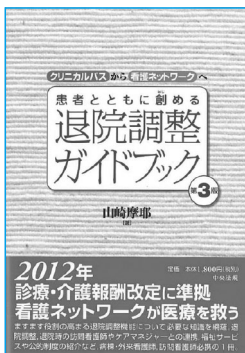
クリニカルパスから看護ネットワークへ

患者とともに創める退院調整ガイドブック 第3版

著：山崎摩耶／中央法規

定価：1,890 円(本体 1,800 円＋税)／TEL：03-3379-3861

■初版から7年、退院調整はますます重要性を増し、在宅における「ポスト・アキュート・ロングターム・ケア=急性期治療は終わったが医療ニーズや機器装着など継続的な医療管理の必要な患者の長期ケア」が必要(「第3版への序文」より)とされている。「地域包括システム」の構築を、退院調整、多職種連携、公的制度など、著者ならではの視点で多角的に展望する。2012年の診療・介護報酬同時改定に準拠した一冊。



中学生からの対話する哲学教室

著：Sharon Kaye, Paul Thomson／監訳：河野哲也／玉川大学出版部

定価：2,520 円(本体 2,400 円＋税)／TEL：042-739-8935

■「人生の価値と意義を見だしていく過程が、教育課程のなかに組み込まれるべきである」(「監訳者のことば」より)。人が人として生きるために、世界の人々と共同社会を築くために欠かせない基本的価値観の形成と批判的思考の方法。社会性を身につけ、コミュニケーションの力を涵養するため、アメリカの中学生向けに書かれたテキストの日本語訳。「先生のための手引き」付き。

